

記者発表（発表）				
月／日	担当課・班名	TEL	発表者名	その他資料配付先
11月16日 (金)	文化財課 文化財班	内線 5763 直通078-362-3784	課長 山下史朗 副課長 熊谷久男	文化庁、洲本市

史跡名勝天然記念物の指定について（国指定名勝）

1. 発表概要

国の文化審議会（会長 佐藤 信^{さとう まこと}）は、平成30年11月16日（金）に開催予定の同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、史跡名勝天然記念物の新指定12件、追加指定等22件、登録記念物の新登録3件、重要文化的景観の新選定1件を文部科学大臣に答申する予定です。

兵庫県内の名勝の指定1件が含まれますので、その概要についてお知らせします。

2. 答申される候補物件（兵庫県関係）

名勝の指定

「旧益習館庭園」（洲本市）1件

3. 名勝の指定状況

（全国の状況）

種別	現在指定件数	今回答申件数			合計（現在指定件数と答申件数との合計）
		新指定	解除	統合による減	
名勝	414	1	0	0	415
（うち特別名勝）	（36）	（0）	（0）	（0）	（36）

（兵庫県の状況）

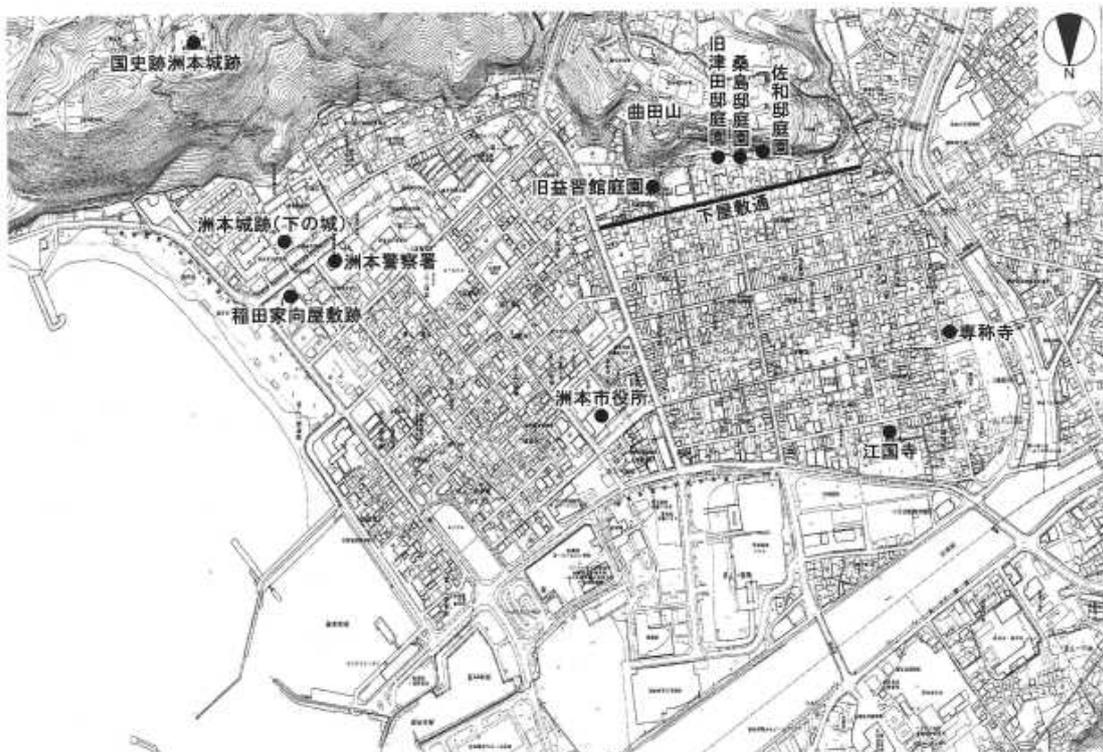
種別	現在指定件数	今回答申件数	合計（現在指定件数と答申件数との合計）
		名勝の指定	
名勝	8	1	9

- 1 名称 旧益習館庭園きゅうえきしゅうかんでいえん
- 2 指定基準 名勝の一部（庭園）
- 3 所在地 兵庫県洲本市すもとし
- 4 説明

旧益習館庭園の敷地は旧城下町外町地区の下屋敷筋の近くにある。この辺りは徳島藩筆頭家老で洲本城代あった稲田氏やその家臣の屋敷が並ぶ武家居住区域であった。

旧益習館庭園は稲田氏の別荘「西荘」せいそうに造られた庭園をその始まりとする。江戸時代の西荘には頼山陽らいさんよう（1781～1832）や浦上春琴うらがみしゆんきん（1779～1846）等の文人墨客が訪れており、その頃の様子は19世紀半ばに齋藤崎庵さいとうきあん（1805～1883）によって描かれた西荘の絵画（個人蔵）からもうかがうことができる。

長らく稲田氏の別荘であった西荘は、嘉永7年（1854）に稲田氏の私塾が移設されて「益習館」となったが、明治3年（1870）の騒乱によって建物が焼失する。その後は個人の所有するところとなり、明治末期から大正期にかけて新たな建物の建築や庭園の改修が行わ



庭園の位置

れた。昭和 30 年代に再び所有者が変わったが、平成 25 年に洲本市に寄贈され、現在は洲本市が管理している。

旧益習館庭園は、石切場の跡地に造られ、そこにある巨岩を景観の主要な要素としている。ところどころ岩盤が露出する曲田山^{まがたやま}を背に設けられた園池^{えんち}の山側部分に複数の巨岩が並び、そのうち最も大きなものは幅が約 5.8m、高さは約 4m ある。これらの巨岩には石材切り出し時の矢穴^{やあな}が残っていることから、ここがかつて石切場として利用されていたことがわかる。曲田山からの流水を水源とする園池の手前には明治末期から大正期にかけて建築された書院が建つ。また、書院と園池の間には飛石^{とびいし}が打たれているが、これも近代以降に整備されたものである。池畔から左手奥には、洲本城のある三熊山^{みくまやま}を望むことができる。

旧益習館庭園は、江戸時代に石切場跡を整備して造営された庭園を始まりとし、複数の巨岩が並ぶ独特の景観を特徴とする、全国でも類をみない武家庭園である。

- ・ 庚午事変（稲田騒動）の舞台となった旧益習館の庭園。
- ・ 複数の巨岩が並ぶ独特の景観を持つ、全国でも類を見ない武家庭園。
- ・ 名勝庭園の国指定は淡路島で初。兵庫県では平成 14 年 9 月に指定された旧赤穂城庭園以来、16 年ぶり。

用語解説

らいさんよう 頼山陽 (1781~1832)

江戸後期の儒学者・歴史家・漢詩人。大坂の生まれ。春水の長男。名は襄(のぼる)。字(あざな)は子成。18歳のとき江戸に出て経学・国史を学び、のち京都に上って私塾を開き、梁川星巖・大塩平八郎らと交わった。著「日本外史」「日本政記」「山陽詩鈔」など。
(「デジタル大辞泉」から)

うらがみしゆんきん 浦上春琴 (1779~1846)

江戸後期の南画家。玉堂の長子。名は選。諸国遍歴ののち、京都に住み、頼山陽らと交わる。細緻鮮麗な山水花鳥を得意とした。
(「デジタル大辞泉」から)

さいとう きあん 齋藤崎庵 (1805~1883)

幕末~明治の南画家。城崎の伊勢屋という旅館の長男として生まれる。16歳の時京都へ出て、南画家中林竹洞の弟子となる。旅を好んで、那智、甲州、耶馬溪、九州などを訪れ、各地で名家と親交を結んだ。

明治3年(1870)の騒乱

庚午事変、稲田騒動とも言う。徳島藩筆頭家老稲田氏の家臣が淡路の分離独立を求めたことで、徳島藩士の襲撃を受けた騒動のこと。稲田家家臣17人が死亡し、蜂須賀家家臣10人が切腹させられた。その後、稲田家家臣たちは北海道へ移住を命じられた。淡路島が兵庫県に編入される遠因ともなる。

矢穴

石材を割るために石に掘る穴のこと。矢穴はいくつか列状に掘られるため、切り出された石材には矢穴の跡が並んでいることが多い。



園池

庭園内の池のこと。池泉ともいう。

飛石

庭園内の通路として、平らで円形に近い石を並べたもの。

兵庫県内の国指定名勝（_____ は庭園の指定）

- | | | | |
|---|-------------------------|------------|----------|
| 1 | 慶野松原 | 昭和3年10月13日 | 南あわじ市 |
| 2 | 但馬御火浦 | 昭和9年1月22日 | 新温泉町、香美町 |
| 3 | 香住海岸 | 昭和13年5月30日 | 香美町 |
| 4 | <u>安養院庭園</u> | 昭和55年2月19日 | 神戸市西区 |
| 5 | <u>田淵氏庭園</u> | 昭和62年5月25日 | 赤穂市 |
| 6 | <u>旧大岡寺庭園</u> | 平成元年9月22日 | 豊岡市 |
| 7 | <u>旧赤穂城庭園</u> | 平成14年9月20日 | 赤穂市 |
| | 本丸庭園 | | |
| | 二ノ丸庭園 | | |
| 8 | 再度公園・再度山永久植生保存地・神戸外国人墓地 | 平成19年2月6日 | 神戸市中央区 |
| 9 | <u>旧益習館庭園</u> | | 洲本市 |



旧益習館庭園01(遠景)



旧益習館庭園02(正面)



旧益習館庭園03(西から)



旧益習館庭園04(東から)



旧益習館庭園05(書院内部1)



旧益習館庭園06(書院内部2)



旧益習館庭園07(書院内部3)



旧益習館庭園08(ライトアップ)